

H—(1635)—

# 教 養

## 試 験 問 題

### 注 意 事 項

1. 問題は 50 題(29 ページ)あります。
2. 解答時間は正味 2 時間です。
3. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
4. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
5. 下欄に受験番号等を記入してください。

第 1 次試験地	試験の区分	受験番号	氏 名
----------	-------	------	-----

指示があるまで中を開いてはいけません。

途中で退室する場合………本試験種目終了後の問題集の持ち帰りを

希望しない

【No. 1】 我が国の労働基本権に関する記述として妥当なもののみを挙げているのはどれか。

- A. 我が国の憲法は、勤労の権利を保障しているほか、団結権、団体交渉権、団体行動権（争議権）の労働三権を保障している。
- B. 労働者の権利を確保するための法律には、労働基準法、労働組合法、労働者災害補償保険法があり、総称して労働三法という。
- C. 労働基準法は、労使対等の立場での労働条件の決定などを基本原則としてかかげ、賃金・労働時間・休日などについて基準を定めている。
- D. 労働組合法で定められた争議行為としては、労働者側にストライキ、サボタージュ、ロックアウトがあり、使用者側に解雇、レイオフがある。
- E. 労使関係を調整し、争議を予防・解決するために労働基準監督署が設けられており、斡旋・調停・仲裁の三つの方法によって労使関係の改善に当たる。

- 1. A, B
- 2. A, C
- 3. B, D
- 4. B, E
- 5. C, D

【No. 2】 我が国の司法に関する記述として最も妥当なのはどれか。

- 1. 第二次世界大戦前の陪審制では、陪審員になるための収入等の要件が課せられていたが、現在行われている制度では、日本国籍をもつ成人であれば誰でも陪審員になることができる。
- 2. 裁判所は、最高裁判所と下級裁判所に大きく分けられ、後者は、さらに高等裁判所・地方裁判所・家庭裁判所及び行政裁判所からなっている。
- 3. 裁判所には、具体的な裁判を行うに当たり、法令や行政機関の行為が憲法に適合しているかどうかを審査する違憲立法審査権が与えられている。
- 4. 裁判官はその身分を特別に保障されており、国会や内閣など最高裁判所以外のいかなる国の機関によっても罷免されることはない。
- 5. 最高裁判所の裁判官及び最高検察庁の検察官に対しては国民審査が行われ、投票者の過半数が罷免に賛成したときは罷免される。

【No. 3】 近年の我が国の貿易に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 1990年代のバブル崩壊後から輸出が伸び悩み、毎年貿易赤字が続いている。
2. 繊維製品や鉄鋼の輸出に関してアメリカ合衆国と貿易摩擦が生じている。
3. 輸入品目別にみると、肉類の輸入額が石油のそれよりも多くなっている。
4. 輸出先を国別にみると、アメリカ合衆国への輸出額が最も多い。
5. 現在我が国と2国間自由貿易協定を結んでいるのはメキシコと中国である。

【No. 4】 我が国の財政と税体系に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 我が国の国家財政は、一般会計、特別会計、財政投融资計画から成り立っており、このうち財政投融资計画は、法人税や社会保険などの原資を日本銀行が投資・運用するものである。
2. 直接税と間接税の比率は国によって異なっており、日本やアメリカでは間接税の比率が高く、ヨーロッパでは直接税の比率が高い。
3. 我が国の消費税のような間接税は、所得税のような累進課税制度に比べて、所得の再分配効果にすぐれているが、高額所得者の労働意欲の減退という弊害がある。
4. 我が国では、第一次産業の従事者は所得の9割を税務当局に捕捉されるのに対し、第二次産業は6割、第三次産業は4割しか捕捉されないと言われている。
5. 政府の支出が歳入よりも大きくなる時、赤字を埋めるために発行される債券を公債といい、我が国では、国以外に地方公共団体にもその発行が認められている。

【No. 5】 核兵器に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 我が国は、世界最初の被爆国であり、第二次世界大戦時にアメリカ合衆国によって広島、長崎、沖縄に原子爆弾が投下されている。
2. 我が国の非核三原則は、核兵器を「つくらず、もたず、あたえず」であり、この原則は憲法に明記されている。
3. 我が国も批准している核兵器不拡散条約(NPT)は、核兵器を保有する国の増加を防止することを目的とした条約である。
4. 我が国が常任理事国を務める国連の安全保障理事会は、加盟国に対して核兵器実験の許可を与える権限を持っている。
5. 我が国は、核兵器の拡散を防止するため、中国などの核兵器を開発・保持する国に対して政府開発援助(ODA)を行っていない。

【No. 6】 人権思想の発達に関する次の記述のA～Dに当てはまる語句の組合せとして最も妥当なのはどれか。

17～18世紀のヨーロッパでは、君主の権威は( A )に由来するもので、人民はこれに従うのが当然だとする考え方に支えられ、国王は絶対的な権力を振るっていた。

やがて、絶対君主や封建領主による圧制や抑圧を、神の意思に反するものだとする考え方が生まれ、イギリス、アメリカ、フランスなどで、( B )が起こったのである。

イギリスのロック、フランスのルソーなどは、人は生まれながらにして( C )をもち、自分の生命や幸福を守ることを神によって認められていると考えた。

このように考えると、( C )を侵すことは政府や国家にも許されないことになる。ここから「国家は( C )を持つ人々の同意によって成り立ち、政府は人権を守るために組織される」とする( D )という考え方が生まれた。

	A	B	C	D
1.	神	市民革命	自然権	社会契約説
2.	法	市民革命	信仰	夜警国家
3.	神	宗教改革	信仰	社会契約説
4.	法	宗教改革	自然権	法治主義
5.	神	市民革命	信仰	夜警国家

【No. 7】 我が国の各時代における改革に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 聖徳太子は、憲法十七条の制定によって班田収授の法を実施する一方、当時、豪族の間で広く信仰されていた仏教を禁止して国家神道の普及に努めた。
2. 聖武天皇は、新たな寺院の建立を禁止して国家財政の建て直しを図る一方、大宝律令を制定して貴族や寺院による土地の開墾や私有化を禁じた。
3. 桓武天皇は、平安京に遷都するとともに、健児制こんでいと呼ばれる新たな軍事制度の導入や勘解由使かげゆしの設置などにより律令政治の建て直しを図った。
4. 北条時宗は、元寇によって弱体化した幕府の建て直しを図るために武士の根本規範として武家諸法度を制定する一方、朝廷を監視するために京都に京都所司代を置いた。
5. 足利義満は、清との間に勘合貿易を行い貿易の統制を図る一方、五大老や五奉行と呼ばれる將軍の補佐機関を設置して有力な守護大名をこれに充てた。

【No. 8】 日露戦争に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. この戦争によって日本の海運・造船業は活況を呈し、船成金が続出する一方、物価が高騰するなど庶民の生活が困窮し、各地で米騒動が頻発した。
2. この戦争によって得た巨額の賠償金をもとに、日本は造船所や砲兵工<sup>しょう</sup>廠を設立して兵器生産に乗り出し、また、軽工業の分野で官営模範工場を設立するなど、殖産興業の政策を推進した。
3. この戦争の終結後も日本は拠点である満州・モンゴルの背後を確保しようとシベリアに駐兵を続けたため、各国から領土的野心を疑われ、厳しい非難を浴びた。
4. この戦争の結果日本は韓国に対する指導権や清国内における利権などを得たものの、賠償金が得られなかったことなどから国民の不満が爆発し、講和に反対する暴動が起こった。
5. この戦争の結果ロシアから全満州の権益を得た日本は、関東軍の実力行使によって清朝最後の皇帝溥儀を執政とする満州国を成立させたため、国際連盟を除名された。

【No. 9】 唐に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 建業に都を置く唐王朝を開いた始皇帝は、北方の遊牧民族である匈奴の侵入に備えて万里の長城を築いた。
2. 国家の保護を受けた仏教が栄える一方、<sup>けんきょう</sup>祆教(ゾロアスター教)・回教(イスラム教)・景教(キリスト教の一派)などの宗教も伝えられた。
3. 従来の両税法による徴税が廃止され、地税と人頭税を一括して銀で徴収する一条鞭法が実施された。
4. イギリス・インドとの三角貿易によりアヘンが国内に大量に流れ込み、アヘン吸飲の悪習が民衆の間に広まった。
5. 紅巾の乱により混乱を深めた唐は、モンゴル統一を果たしたチンギス・ハンにより滅ぼされた。

【No. 10】 次の文の( )に入る歴史的事件として最も妥当なのはどれか。

イギリスやフランスにおいて、封建諸侯が没落し、国王の下に統一国家への建設が進められていたころ、ドイツでは逆に諸侯の力が強まり、皇帝の力は次第に弱くなっていった。特に( )の結果、外国や諸侯の領土が拡大され、また、領邦君主や自由都市がほとんど完全な独立的主権を獲得したことによって、国家統一の条件はますます失われてしまった。神聖ローマ帝国は有名無実化し、ドイツでは、この後更に200年以上にわたり、分裂と混乱の時代が続くのである。

1. 十字軍遠征
2. ばら戦争
3. 百年戦争
4. 三十年戦争
5. ナポレオン戦争

【No. 11】 秋吉台に見られるようなカルスト地形の形成過程に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 石灰岩台地が、空気中の二酸化炭素を含む雨水によって、溶食されて形成された。
2. 火山の噴火活動によるもので、小規模の爆発や陥没、溶岩流により形成された。
3. 氷河が運搬した土砂の堆積作用によって形成された。
4. 河川の氾濫による侵食作用と堆積作用が繰り返されて形成された。
5. 海岸線が隆起と沈降を繰り返したことにより形成された。

【No. 12】 次の表は、日本、カナダ、ブラジル及びフランスの発電量と発電エネルギー源別割合を示したものであるが、A～Dのうち日本とフランスに該当するものの組合せとして正しいのはどれか。

国	発電量 (億 kWh)	発電エネルギー源別割合(%)		
		水 力	火 力	原子力
A	10,915	8.9	61.6	29.5
B	6,053	59.3	28.7	12.0
C	5,407	13.4	9.8	76.8
D	3,492	87.3	11.0	1.7

注 1) OECD 統計, 2000 年

注 2) 地熱は火力に, 新エネルギーは水力を含む。

- | 日 本  | フランス |
|------|------|
| 1. A | C    |
| 2. B | A    |
| 3. B | D    |
| 4. C | A    |
| 5. C | B    |

【No. 13】 フランスの印象派の技法を習得して日本にもたらし、日本における洋画の発展に大きな役割を果たした画家として知られているのは誰か。

1. 黒田清輝
2. 青木繁
3. 佐伯祐三
4. 岸田劉生
5. 藤田嗣治

【No. 14】 次の四字熟語の意味として最も妥当なのはどれか。

1. 眉目秀麗：成績が優秀であること
2. 天衣無縫：他の人の迷惑を顧みずわがままを押し通すこと
3. 夜郎自大：自分の力量を知らずに仲間の中で威張っている人
4. 君子豹変：平凡と見られていた人が長じて立派な人になること
5. 一言居士：自分の言ったことにこだわり、自説を決して曲げない人

【No. 15】 次のうち、カタカナに当てた漢字がすべて正しいのはどれか。

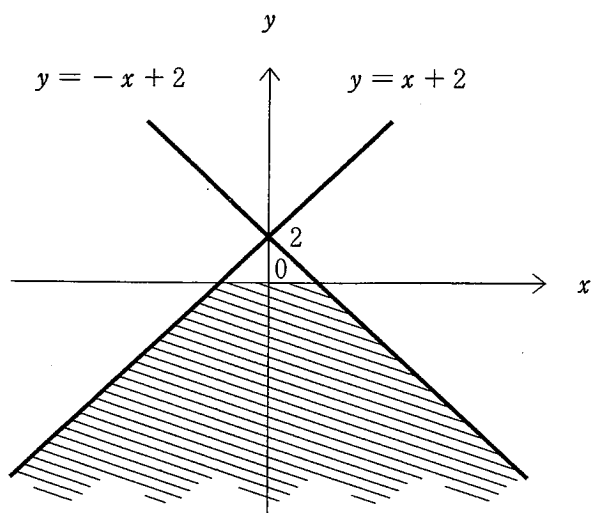
1. 彼のセンコウ(専攻)分野は、都市のヘンセン(変遷)に関する研究だ。
2. キキョウ(帰郷)して、町のあまりのヘンボウ(変謀)に驚いた。
3. オンコウ(温候)な彼を、長い年月がヘンヨウ(変容)させてしまった。
4. 何のヘンテツ(変徹)もない男だが、不思議なミリョク(魅力)を持っている。
5. 彼はヘンセツ(変折)したために、仲間の中でコリツ(孤立)してしまった。

【No. 16】 高さ 2 cm、底面の周囲の長さが 8 cm である直方体のうち、表面積が最大となるものの体積はいくらか。

1.  $4 \text{ cm}^3$
2.  $6 \text{ cm}^3$
3.  $8 \text{ cm}^3$
4.  $10 \text{ cm}^3$
5.  $12 \text{ cm}^3$

【No. 17】 図の斜線の領域を示す連立不等式として正しいのはどれか。

ただし、領域は境界を含まないものとする。



1.  $\begin{cases} y < x + 2 \\ x < 0 \end{cases}$
2.  $\begin{cases} y < x + 2 \\ y > 0 \end{cases}$
3.  $\begin{cases} y > x + 2 \\ y > -x + 2 \end{cases}$
4.  $\begin{cases} y < x + 2 \\ y < -x + 2 \\ y < 0 \end{cases}$
5.  $\begin{cases} y < x + 2 \\ y < -x + 2 \\ x > 0 \end{cases}$

【No. 18】 波の一種である光には、波長の等しい二つの波が重なり合って、強め合ったり弱め合ったりする干渉と呼ばれる性質があるが、次のうち干渉による現象として最も妥当なのはどれか。

1. 水面にできた薄い油の膜やしゃぼん玉が虹色に見える。
2. 赤色と青色と緑色の光を重ね合わせると、白色に見える。
3. 宇宙では白色に見える太陽が、地上からは黄色に見える。
4. 非常に狭いすき間を通る光を眺めると、光が広がって見える。
5. ナトリウム灯で照明されたトンネル内では、赤色の車が黒く見える。

【No. 19】 ある人が次のような作業をした。この人がした力学的な仕事量のうち最も大きいのはどれか。

1. 50 kg 重の石を持ち上げようとしたが、持ち上がらなかった。
2. 2 kg 重の石を持って、1 m 歩いた。
3. 摩擦力 2 kg 重の石を 1 m 引っ張った。
4. 橋の上にある 1 kg 重の石を 10 m 下の川に落とした。
5. 1 kg 重の石を持って、高さ 3 m の斜面を上った。

【No. 20】 次は、水溶液の性質についての記述であるが、A、B、Cに入る語句の組合せとして正しいのはどれか。

ある水溶液に対してリトマス紙で検査すると、リトマス紙は( A )に変色した。同じ水溶液をフェノールフタレイン溶液に入れると、フェノールフタレイン溶液は( B )に変色した。このことからこの水溶液は塩基性(アルカリ性)であり、その pH は 7 より( C )ことが分かる。

- |    | A      | B   | C   |
|----|--------|-----|-----|
| 1. | 赤色から青色 | 赤 色 | 大きい |
| 2. | 赤色から青色 | 赤 色 | 小さい |
| 3. | 赤色から青色 | 青 色 | 大きい |
| 4. | 青色から赤色 | 赤 色 | 小さい |
| 5. | 青色から赤色 | 青 色 | 小さい |

【No. 21】 次に挙げた物質のうち、変化の前後の質量を比較すると、後のほうが質量が増えるのはどれか。

1. 銅と亜鉛を溶かして黄銅(真ちゅう)にしたとき、溶かす前の銅と亜鉛の質量の合計と、できた黄銅の質量
2. 水を凍らせたとき、凍る前の水の質量と、できた氷の質量
3. 銅線に電気を流したとき、流す前の銅線の質量と、流した後の銅線の質量
4. 食塩を水に溶かしたとき、溶かす前の食塩と水の質量の合計と、溶かした後の食塩水の質量
5. 鉄を空気中に放置してさびさせたとき、さびる前の鉄の質量と、さびた鉄の質量

【No. 22】 次はコウボ菌の活動に関する記述であるが、A及びBに該当するア～エの記述の組合せとして最も妥当なのはどれか。

コウボ菌は、ブドウ糖やショ糖を分解し、そのときに生じるエネルギーを生命活動に利用している。酸素があるところでは( A )。また、酸素がないところでは( B )。

- ア. 光合成と好気呼吸を行い、セルロースと酸素を生成する
- イ. 好気呼吸を行い、二酸化炭素と水を生成する
- ウ. 乳酸発酵を行い、乳酸を生成する
- エ. アルコール発酵を行い、アルコールと二酸化炭素を生成する

A      B

1. ア      ウ
2. ア      エ
3. イ      ウ
4. イ      エ
5. エ      ウ

【No. 23】 生態系は、生物群集と大気・光・温度・水・土壌などの非生物的環境から成り立っており、互いに影響しあっている。この生態系の構造と機能に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 緑色植物は、太陽の光エネルギーを利用して光合成を行い、無機物から有機物を作り出しているので、生産者として働いている。
2. 菌類や細菌類は、緑色植物や動物の遺体や排出物などの無機物を有機物に変えてエネルギーを得ているので、消費者として働いている。
3. 動物は、緑色植物や動物を食べ、体内でタンパク質をアミノ酸に分解しているため、分解者として働いている。
4. 生物の遺体は細菌によって分解されるが、それによって生じた炭素は、大部分が緑色植物の根から吸収された後、呼吸によって大気中に放出される。
5. 緑色植物の光合成によって光エネルギーから変化した熱エネルギーは、消費者や分解者を通じて生態系の中を絶えず循環している。

【No. 24】 次のA～Eは、我が国(本州付近)において生じる季節の典型的な気象現象に関する記述であるが、Aの現象の後に生じる気象現象の順序として最も妥当なのはどれか。

- A. 日本の西にはシベリア高気圧が、東には低気圧があって西高東低の気圧配置となり、北西の季節風が強まって本州の日本海側では多量の降雪となることがある。
  - B. オホーツク海高気圧からの寒冷な大気と日本の南方海上からの小笠原高気圧がぶつかり、長く伸びた停滞前線をつくり断続的な雨が降る。
  - C. 小笠原高気圧が停滞前線を北に押し上げ、日本は南高北低の気圧配置となり高温多湿な気候となる。
  - D. 移動性高気圧と低気圧が交互に西から日本を通過する。また、低気圧が日本の南岸沿いを進むときに上空に寒気があると太平洋岸に雪をもたらすことがある。
  - E. 小笠原高気圧が南に後退を始め、北のシベリア高気圧が南下し、日本の南岸沿いに前線が停滞して雨が断続的に続く。
1. B→C→D→E
  2. C→B→E→D
  3. C→D→B→E
  4. D→B→C→E
  5. D→E→C→B

【No. 25】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

Whether work should be placed among the causes of happiness or among the causes of unhappiness may perhaps be regarded as a doubtful question. There is certainly much work which is exceedingly irksome\*, and an excess of work is always very painful. I think, however, that, provided work is not excessive in amount, even the dullest work is to most people less painful than idleness. There are in work all grades, from mere relief of tedium\*\* up to the profoundest delights, according to the nature of the work and the abilities of the worker. Most of the work that most people have to do is not in itself interesting, but even such work has certain great advantages. To begin with, it fills a good many hours of the day without the need of deciding what one shall do.

\*irksome : 面倒な

\*\*tedium : 退屈

1. 仕事について色々な意見があるが、人間の活動の中でも最も幸福感を与えてくれるものであることには異論がない。
2. 自主的に行う仕事は能率が上がるが、他の人から与えられた仕事というものはやる気が湧かず成果も出ないものである。
3. 退屈な仕事や過大な仕事でも、続けていくうちに慣れてきて、仕事から喜びを感じられるようになる。
4. 仕事の能力の低い人でも、自分の気持ちの持ち方や創意工夫によっては大きな成果を上げることができる。
5. たとえ面白くない仕事でも、仕事をするにより何をしようかと考える必要なく時間を過ごせるという長所がある。

【No. 26】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

As far back as I can remember, a simple life in the country has been one popular version of the American Dream. In Japanese, “inaka” often has a negative meaning, especially when young people use it. But “the country” is a place many Americans, young and old, long for. Of course plenty of people wouldn’t live anywhere except New York, for example, and lots of young Americans, like Japanese, can’t wait to leave their small towns and move to the big city. But even so, there’s always been a powerful urge for country life in the American consciousness.

1. 日本の若者が「田舎」という言葉にネガティブなイメージを持たせているのは不自然である。
2. アメリカ人の多くは、ニューヨーク以外のどこかに住みたいと願っている。
3. 多くのアメリカの若者は、自分たちの小さい町を離れて大都会へ移ることを夢見ている。
4. アメリカでは最近、都会の忙しい生活を捨てて田舎でゆっくり暮らすことが流行している。
5. 昔から、田舎を離れて大都会に移ることがアメリカンドリームの一つの形とされている。

【No. 27】 次の文で筆者がいおうとしていることとして最も妥当なのはどれか。

物まなぶともがら、物しり人にあひて、物とふに、ともすればまづ、古書の中にも、よにかたきこととして、たれもときえぬふしをえり出で、とふならひ也。(中略)かたきことを、まづ明らめまほしく思ふも、学者のなべての心なれども、しからばやすき事どもは、皆よくあきらめしれるかと、こゝろむれば、いとたやすき事どもをだに、いまだえよくもわきまへず。さるものゝ、さしこえて、まづかたきふしをあきらめんとするは、いとあぢきなきわざ也。

1. 難しいことを知っている者は、やさしいことはもちろん知っている。
2. 人にものを問うときは、まずやさしいことから始めるのが礼儀にかなう。
3. まず平易なことを十分理解してから難しいことへ進むのが望ましい。
4. 物知りといわれる人でも、奥深いことまでは案外究めていないものである。
5. 最も難しいと思われる問題は、人に問う前にまず自分で考えるべきである。

【No. 28】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

言語学は正しいとか誤りとか、あらかじめきまったものさしをもってことばにのぞまない。ちょうど生物学が、カブトムシは正しいがミミズは誤っているなどとは言わないように。それは、ラテン語は正しいがスペイン語はくずれて誤っているとか、西洋語には文法が正しくそなわっているが、アジアの土着語にはそなわっていないとかいったふうに、自分が慣れた基準でしか他者を見ることのできない、みじめでとらわれた思想から解かれて、やっと手に入れた成果であった。そのことばそのものにひそむ固有の文法を引き出すためには、そうするしかないのである。「文法」というものの意味が、いつでもこういうふうに理解されているかどうかという、まだまだそこまではいっていない。

1. 生物学は言語学と異なり、あらかじめきまったものさしをもって研究にのぞむ。
2. ラテン語にはきちんとした文法があるが、スペイン語の文法はくずれて誤った文法である。
3. 言語学は、自分が慣れた基準でしか他者を見ることができなるといった、みじめな思想にとらわれている。
4. 言語学では、あらゆる文法は「文法」であるかぎり、正しいとか誤っているという見方はしない。
5. あらゆる言語には文法があるが、その言語固有の文法を持つものは少ない。

【No. 29】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

ローマの郊外の古い街道にたくさん松の木があります。笠松といいますか、あの木を見るとほんとうに丸い笠の形で、一本の幹がまっすぐ立って、そこから順番に規則通りの枝が出て、その上に葉っぱがついて、均斉のとれた合理的な形をみせています。自然そのものが規則通りの形をなしていて、非常に明瞭であって、簡単に判断がつき、予測のできる形体だ。ところが日本の松の木、たとえば皇居前の松の木などを見ても、なんともいえない、解釈のつかないような、曲りくねった枝がいっぱい出ている。全体としては妙味あるつり合いがあってもおもしろいんですけども、ローマの松みたいに規則が立てられない。ある意味ではいじけているし、またある意味では多彩な変化に富んだ形が成立している。これをもって自然を理解しようとするならば、ローマの笠松のようなものを基準にして理解する場合とは、よほどちがった考えが出てくるだろう。

1. ローマの松を基準にした場合と、日本の松を基準にした場合とでは、自然の理解の仕方が異なってくる。
2. ローマでは、日本とちがって、規則的・合理的な形をした松が人々に好まれる。
3. ローマの松は付近の景観とマッチしておらず、日本の松のほうが風景によく溶け込んでいる。
4. ローマの松は自然の美しさの面を、日本の松は自然の不合理さの面を表現している。
5. ローマの松の形は単純で全く面白くないが、日本の松は自然の在り方をよく教えてくれる。

【No. 30】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

ある時期、ぼくは、詩人としての聖フランチェスコに惹かれ、彼の『太陽讃歌』を自分なりに訳してみたことがある。聖フランチェスコが一切の所有を否定して清貧に徹したことが、ぼくには、この世を詩的に感じてゆくための、ごく自然な姿勢のような気がしたからである。

太陽も青空も風も花々も泉も緑の大地も、聖フランチェスコ的な自由さのなかに立つと、そのものだけで、歓喜の対象となる。ぼくは青空を過ぎてゆく雲を仰ぎ、また野に咲く花を見て、何とこの地上は〈よき贈りもの〉に満ちているのか、と心底から酩酊したものだった。

もちろん聖フランチェスコのような無所有に達することはできなかったが、すくなくとも自己中心の小さな圏から外に出なければ、強烈な詩的高揚に達しないことは理解できた。ぼくが詩を失い、枯渇した無感動の中でくよくよと日を送っているとき、気がつく、きまって自己中心の小さな圏の中にいて、つまらぬ利害のあれこれに支配されているのだった。

そうした欲求を振り払い、自己の小さな圏を越え、高く飛翔してゆくにつれて——聖フランチェスコ的無所有に近づいてゆくにつれて——青空も花々も風も、兄弟のように、ぼくに向かってほほえみ、話しかけてくる。こんな豊かな美しいものに満ちている地上にいて、どうしてそれに気づかなかったのだろう、という強い感動(むろん悔恨もそこにある)が身体を貫いてゆく。

聖フランチェスコは病气や死までを兄弟として愛していた。無所有もそこまで達すれば、地上に恐れるものはないはずだった。おそらく『太陽讃歌』に歌われた輝かしい酔うような浄福感は、そうした恐れなき全一的肯定の中から生れてきたのであろう。

ぼくは日々のルーティーンに馴れて時おり無感動の中に突き落とされるとき、多忙さにかまけて生活の中のささやかなものへの讃歎の念が衰えるとき、必ず聖フランチェスコの無所有を思うのだ。〈何も持たない〉というその最低の地点こそが、もっとも豊かな歓喜の場所だ。「精神の重心」はそこに置かれなければならない。

1. 現代社会において聖人が現れないのは、身の回りに物や情報が氾濫しているためであり、こうした状況は改善されるべきである。
2. 聖フランチェスコは、所有しているものを完全に捨て去ることが神のもとへ近づく最短の道であると信じ、それを実践した。
3. 偉大な詩人になるには、自己の内面を見つめ、日常のささやかな出来事にも強く感動するような細やかな精神が必要である。
4. 無所有という最低の地点にあることが、人に精神的な自由さを与え、この世が豊かで美しいものにあふれていることを気づかせてくれる。
5. 所有欲の強い人は、「精神の重心」を喪失しているため、無感動な生活を送っているが、自然と触れ合うことで人間としての心を回復できる。

【No. 31】 次の文における筆者の主張として最も妥当なのはどれか。

自然保護は元はといえば、人間の都合ばかり優先していないで、少しは他の生物のことも考えたらどうなんだ、というごく素朴な感情からスタートしたに違いない。しかし、現代社会はそもそも自然保護に整合的なようにはできていない。自然を人間の活動範囲外のすべて、と規定すると、自然保護を実行することは不可能になってしまう。魚を採るのも、牧場で牛を飼うのも、この意味での自然を常に侵略することによってしか可能でないからである。人間に侵略されていないもののみを自然とすることは可能だが、すると保護すべき自然はほとんど存在しなくなる。人間の活動範囲外の自然など、もはやこの地球上には皆無とは言わないまでもほとんどないからだ。

それでは、自然を人間活動込みの何かと考えてみよう。人間も自然の一部であるから、究極的に考えれば人間活動を含めた一切合切は自然ということになる。何をしても自然なのだから、自然保護という概念はここでも破綻してしまう。自然を客観的に規定しようとする、自然保護という活動はなりたないのである。自然保護が行為として成立するためには、自然を恣意的に規定するか、あるいは自然を規定しないで、何のために自然保護をするのか、という原点に戻って、自然保護という行為そのものについて考えるよりない。

前者のやり方は、たとえば原生林、クジラ、カモシカ等々を保護すべき自然と見做してしまうのである。これはとても単純な考え方ではあるが、なぜそれらが保護に値するかを考えないと、原理主義になりやすい。カモシカは貴重だから天然記念物にして保護しよう、と誰かが言い出す。それはなかなか反対できない正義のひびきをもつ。するとカモシカが増えすぎて森林を食い荒らしても、カモシカを一頭たりとも殺してはいけないという話になってしまう。クジラも同じである。何が何でもクジラを一頭たりとも獲ってはいけない、という話になりがちだ。原生林への立ち入りを一切禁ずる、というのも同じ発想である。

何のためにやっているのかの反省的意識が欠如すると、人はしばしば手段そのものを最終目的にしてしまう。(中略)原理主義の定義として辞書にどんなことが書いてあるのかは知らないが、私ならば、手段を最終目的にすることと定義する。

1. 守るべき自然など地球上のどこにも存在しないのだから、自然保護運動は無意味である。
2. 自然保護を主張するなら、保護すべき自然をまず規定することから始めるべきである。
3. クジラやカモシカを保護の対象とみなすような運動は、自然保護運動ではない。
4. 自然を恣意的に規定する自然保護運動は、手段そのものが目的となってしまう原理主義に陥りやすい。
5. 目的のためには手段を選ばない原理主義的な自然保護運動にはどうしてもなじめない。

【No. 32】 次の文は筆者自身の闘病経験を基に書かれたものである。次のうち、この文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

現在の社会では一般に、人格的な欠点はその人の個人的な責任とされる傾向が強い。しかし、私たち人間というものをよく考えてみると、感情を含めた私たちのすべての営みは生命現象の一面にすぎないことに気づくであろう。

肉体であれ、精神であれ、細胞の中の遺伝子に記された情報にしたがって物質がつくり出され、それらの物質によって遂行される化学反応によって、すべての生命現象が営まれているのである。

意志の強い人、弱い人。感受性の鋭い人、鈍い人。努力できる人、できない人。いろいろな人間が世の中を構成している。意志の強い人を例にとって考えてみると、おそらくその根本となるものは、ホルモン様物質や脳内物質の分泌と関係した現象なのであろう。そして、このような物質をたくさん分泌できるかどうかということは、先天的に決まっているのであろう。

ある環境におかれたとき、人間の生体系はどのように反応するか。ホルモンや脳内物質を含めたいろいろな物質の生体内分泌についての研究が進むにつれて、意志の弱い人を責めることが誤りであることがわかってくるのではなかろうか。

すべての形質は、先天的な素質に環境因子が働いて決定される。私たちがどのような環境におかれるかということも、その人自身にはどうしようもないことがほとんどである。一人ひとりの性格のうち、その人の自由になる部分はどれほどありうるのであろうか。むしろ周囲の人の優しいいたわりのところが、一人ひとりのもつ形質を好ましい方向に発現させるのではなかろうか。

1. 遺伝子に関する研究が現在ほど進んでいなかった頃には、意志の弱さをすべてその人の個人的な責任とする傾向があった。
2. 人間の感情を含めたすべての生命現象は、ホルモン様物質や脳内物質などによって遂行される化学反応によって営まれている。
3. 人間の形質は遺伝子によって先天的に決まっているものであるため、意志の弱さに対する責任を、その人の生い立ちや生育環境に求めてはならない。
4. 人格形成にかかわる素質や環境を自らの力で変えることのできる強い人は、そのような力を持たない弱い人に対して優しいいたわりのところを持って接しなければならない。
5. 世の中はいろいろな人で構成されていることが望ましい。また、そのような多様性に富んだ社会環境に置かれることで、人格は好ましい方向に変化するものである。

【No. 33】 (ア)と(イ)の文の間にA～Fを並べ替えて続けると意味の通った文章となるが、その順序として最も妥当なのはどれか。

(ア) 類人猿に比べて人間と遠縁のニホンザルは、優劣関係を忠実に守って行動している。

- A. つまりサルたちは、不平等を顕在化させることによって共存を可能にしているのである。
- B. 勝者をつくるのがけんかを収める最適な方法なのだ。劣位なサルは優位なサルの視線を常に気にして暮らす。
- C. 仲裁者は弱い方に加勢し、食物分配は弱い方の要求から行われる。視線は相手の行為をとがめ、抑え込む効果をもつ。
- D. 強いサルに攻撃されると、よく自分より弱いサルを攻撃する。けんかが起これば、強い方に加勢する。優劣関係に従えば反撃されない。
- E. 遊びも年少者が主導権を握り、年長者が力を抑制しなければ続かない。サルとは逆に類人猿は、力をもつ者の抑制によって共存を可能にする傾向があるのだ。
- F. ところが、より人に近いゴリラやチンパンジーは、あいさつや遊びの際に弱い方が強い方をじっと見つめることがある。第三者がけんかを仲裁する際や、食物の分配を要求する際にも見られる。

(イ) サルのような弱者への圧迫か、類人猿のような強者の自制か。さて、現在の人間の行動はどちらに近いだろうか。

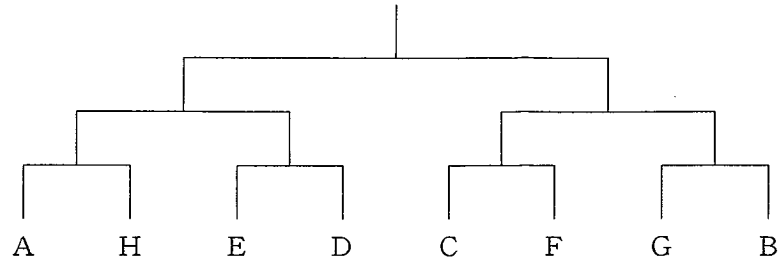
- 1. A→B→D→C→E→F
- 2. B→C→F→E→D→A
- 3. C→E→D→A→F→B
- 4. D→B→A→F→C→E
- 5. E→A→B→C→F→D

【No. 34】 次の文の( )に入るものとして最も妥当なのはどれか。

物のまわりをかぎまわって、物の目じるしをあつめ、物を分類してきたこれまでの哲学は、カントがあらわれたので、研究を中止してしまった。カントは人間の心そのものをしらべるように研究をひきもどして、人間の心にあらわれてくるものを吟味した。カントが自分の哲学をコペルニクスのやり方と比べたのは、もっともなことである。地球を静止したものとして、太陽が地球のまわりを回転していると考えていたコペルニクス前の時代には、天体の運行についての計算がどうもうまく合わなかった。そのときコペルニクスが太陽を静止したものとして、地球が太陽のまわりを回転すると仮定した。すると見よ！ すべての計算がきわめてうまく合うではないか？ これと同じくカント以前は、「太陽」である理性が、現象界つまり「地球」のまわりを回転してそれを照らしていると考えられていた。ところがカントは「太陽」つまり理性を静止したものとして、「地球」つまり現象界がそのまわりを回転して、それに照らされていると仮定した。すると( )のである。

1. 理性つまり「太陽」は、現象界つまり「地球」を反映したものであり、「太陽」は「地球」の影であることが分かる
2. 現象界つまり「地球」は、理性つまり「太陽」の光のおよぶ範囲にはいったときにだけ照らされる
3. 「地球」つまり現象界は、「太陽」つまり理性の別名であり、現象界と理性とは同一の概念を示すこととなる
4. 「地球」つまり現象界と「太陽」つまり理性とは相対的な関係にあり、その時々状況に応じてその関係は変化していく
5. 最も重要なものは「地球」つまり現象界であり、人間の理性や心といったあいまいなものを哲学の中心課題にすべきではないという考えに落ち着く

【No. 35】 A～Hの8選手により図のようなテニスのトーナメント戦が行われた。その結果をみると、7試合のうちいずれか2試合の勝者は、対戦相手に比べて表に示したランクが下位の選手であり、残りの試合の勝者は上位の選手であったことが分かった。このとき、優勝した可能性のある選手をすべて挙げているのはどれか。



ランク	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
選手	A	B	C	D	E	F	G	H

1. A, B
2. A, C, D
3. A, B, C, D
4. A, B, E, F
5. A, C, D, G, H

【No. 36】 X市とY市では、両市にまたがる工場の跡地に野球場又はサッカー場を建設しようとしている。そこで両市の20歳以上の男女にどちらを希望しているかを調査したところ、次のことが分かった。

- サッカー場を望んでいる人の数は、X市の方がY市よりも多かった。
- 男性だけをみると、サッカー場を望んでいる人の数は、Y市の方がX市よりも多かった。
- 市の20歳以上の人口に占めるサッカー場を望んでいる人の割合をみると、Y市の方がX市よりも大きかった。

このとき確実にいえるのはどれか。

1. X市では、野球場を望んでいる人の方がサッカー場を望んでいる人よりも人数が多い。
2. Y市では、サッカー場を望んでいる人の方が野球場を望んでいる人よりも人数が多い。
3. X市の方がY市よりも20歳以上の人口が少ない。
4. X市では、女性よりも男性の方がサッカー場を望んでいる人の数が多い。
5. Y市の女性よりもX市の女性の方が、サッカー場を望んでいる人の数が多い。

【No. 37】 次のことからいえることとして正しいのはどれか。

- このクラスの生徒は高校3年生である。
  - このクラスの生徒は健康である。
  - 健康な人は意志が強い。
  - A君は意志が強い。
1. A君は高校3年生である。
  2. 意志の強い人は健康である。
  3. 高校3年生は健康である。
  4. A君は健康である。
  5. このクラスの生徒は意志が強い。

【No. 38】 年齢の異なる男女1人ずつからなるペアが3組ある。その各人をA～Fとし、次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- A, B, Cは同じ年齢で、このうちBとCは女性である。
  - 男性Dと女性Eは同じ年齢で、Fは他の5人と年齢が異なる。
  - 女性のうち2人は年上の男性とペアを組み、1人は年下の男性とペアを組んでいる。
1. FはAとDの中間の年齢である。
  2. DはFより年上である。
  3. AとEはペアを組んでいる。
  4. CはEより年上である。
  5. BとFはペアを組んでいる。

【No. 39】 A～Fの6人で剣道の総当たり戦を行った。結果は、A, C, Eがそれぞれ4勝、Fは2勝で、引き分けはなかった。これから確実にいえるのはどれか。

1. BはDに勝ち、Fに敗れた。
2. CはEに勝ち、Aに敗れた。
3. DはFに勝ち、Eに敗れた。
4. EはAに勝ち、Bに敗れた。
5. FはBに勝ち、Cに敗れた。

【No. 40】 AとBは同じ会社の同じ課に勤める同僚である。次のカレンダーに示された2週間における二人の行動について次のことが分かっているとき、正しいのはどれか。

なお、この会社は土曜日と日曜日が定休日で、社員が出社することはない。

月	火	水	木	金	土	日
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

- Aは4日連続、Bは3日連続の出張があり、出張の間は出社しなかった(出張は定休日や休暇をはさまない)。
  - Aは土日の定休日をはさんで3日間の休暇を取り、5日連続出社しなかった。Bは木曜日は2回とも休暇を取った。
  - AとBがともに出社した日は3日間だけであった。
1. Aの出張は15日から18日までであった。
  2. Aは水曜日は2回とも出社した。
  3. AとBの出張は1日も重ならなかった。
  4. 金曜日は2回とも、A、Bがともに出社した。
  5. 8日と9日はA、Bがともに出社した。

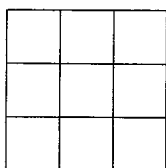
【No. 41】 図Ⅰのような  $3 \times 3$  のマス目のある盤上に、次のルールで置くことのできる同じ大きさの隣接する正方形三つを組み合わせたピースの形は、図Ⅱのように 2 通りある。ここで、隣接する正方形とはどの正方形も少なくとも 1 辺で他のいずれかの正方形と接しているものをいい、図Ⅲのようなものはこれに含めないものとする。

このとき、同じルールでこの図Ⅰの盤上に置くことのできる隣接する正方形四つを組み合わせたピースの形は全部で何通りあるか。

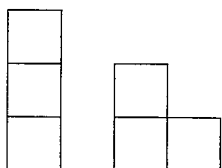
〈ルール〉

- ピースは盤からはみ出したり、マス目からずらして置いてはならない。
- ピースを回転させたり裏返したりしてできる形は同じものとする。

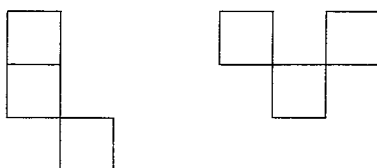
図Ⅰ



図Ⅱ



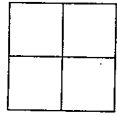
図Ⅲ



1. 2 通り
2. 4 通り
3. 6 通り
4. 8 通り
5. 10 通り

【No. 42】 図のように正方形の各辺の中点を結んで、四つの正方形に分けた。この四つの正方形を四つの色をすべて使って塗り分ける場合、全部で何通りの塗り方があるか。

ただし、回転させると同じになる塗り方は同じものとする。



1. 3通り
2. 4通り
3. 5通り
4. 6通り
5. 7通り

【No. 43】 図 I は図 II の立方体の展開図である。図 II で見えていない他の 3 面を見た図はどれか。

図 I

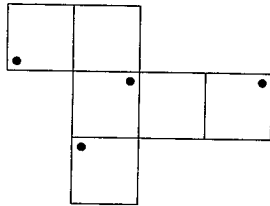
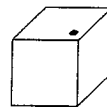
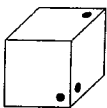


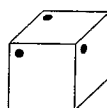
図 II



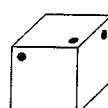
1.



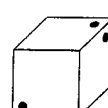
2.



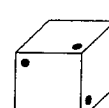
3.



4.



5.



【No. 44】 ある人が航空機で東京を出発し、ロンドン経由でカイロへ向かった。ロンドンで航空機を乗り換えたため、カイロへ到着したのは、現地時間で同日の夜であった。所要時間の合計は次のどれか。

なお、所要時間とは、出発時刻～到着時刻(航空機に乗っていた時間)を指し、ロンドンでの待ち時間を含まない。

また、それぞれの都市における出発時刻及び到着時刻は表1のとおりであり、日本、英国、エジプトの標準時を定めている経度及び時差は表2のとおりであるとする。

表1 各都市の出発時刻及び到着時刻(現地時間)

出発地	出発時刻	到着地	到着時刻
東京	11:00	ロンドン	14:40
ロンドン	16:05	カイロ	22:55

表2 各国の標準時設定の経度及び時差

日本	東経 135 度	+ 9 時間
エジプト	東経 30 度	+ 2 時間
英国	東経 0 度	0 時間

1. 16 時間 40 分
2. 17 時間 30 分
3. 19 時間 40 分
4. 20 時間 10 分
5. 21 時間 20 分

【No. 45】 AとBの二人が、図のような直線上に結ばれたP地点とQ地点の間を何回か往復するランニングの練習をしている。PQ間をAは30秒、Bは20秒で走るとすると、AがP地点、BがQ地点を同時に出発して10分30秒の間に、BがAとすれ違ったり追い抜いたりする回数は全部で何回か。

ただし、AとBは休むことなく一定の速さで走るものとする。



1. 22回
2. 24回
3. 26回
4. 28回
5. 30回

【No. 46】 A, B, Cは0～9の異なる整数であり、 $A > B > C$ の関係がある。

いま、 $A + B - C = 15$ 、 $A \times B - A \times C = 54$ であるとき、 $A - B + C$ の値はいくらか。

1. 1
2. 3
3. 5
4. 7
5. 9

【No. 47】 男女各 15 人ずつのグループがあり、男性の平均身長は女性の平均身長より 9.0 cm 高かった。いま、男性 2 人がこのグループから抜けたが、それは男性の平均身長より 3.0 cm 及び 2.0 cm 低い者であった。この 2 人が抜けた後の男女の平均身長の差は約何 cm か。

1. 9.2 cm
2. 9.4 cm
3. 9.6 cm
4. 9.8 cm
5. 10.0 cm

【No. 48】 A 地点から B 地点までドライブする計画を立てたが、途中で混雑区間があり、この区間は予定していた速度の  $\frac{1}{5}$  の速度で走らざるを得なかった。そのため、B 地点に到着するのに予定時間の 2 倍の時間がかかった。A 地点から B 地点へ走行した距離のうち、混雑区間の占める割合はいくらか。

ただし、混雑区間以外の区間はすべて予定していた速度で走行したものとする。

1.  $\frac{1}{2}$
2.  $\frac{1}{3}$
3.  $\frac{1}{4}$
4.  $\frac{1}{5}$
5.  $\frac{1}{6}$

【No. 49】 次の表は、世界全体の土壌が劣化した土地の面積を地域別・主要原因別に表したものである。これから確実にいえるのはどれか。

ただし、オーストラレーシアとはオーストラリア、ニュージーランドとその周辺の諸島のことである。

(単位：100 万 ha)

	過放牧	森林減少	農業	過剰開発	産業・その他
アフリカ	243.1	66.8	121.4	62.7	0.2
アジア	197.3	297.8	204.3	46.1	1.4
オーストラレーシア	82.5	12.3	8.0	0.0	0.1
ヨーロッパ	50.0	83.8	63.9	0.5	20.6
北アメリカ	37.9	17.9	90.5	11.5	0.4
南アメリカ	67.9	100.0	63.5	12.0	0.0

注) 平成 15 年度環境白書より引用・加工。

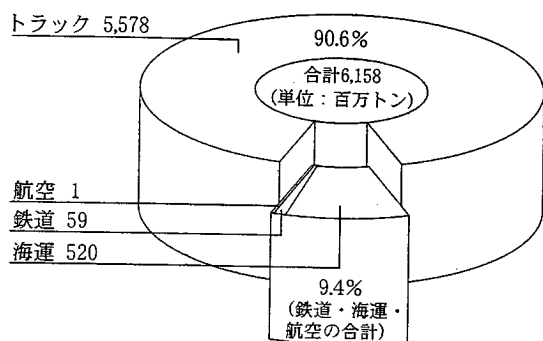
1. 地域別にみると、土壌が劣化した土地の面積が最も大きいのは、アジアである。
2. 地域別にみると、土壌が劣化した土地のうち、過放牧によるものの割合が最も大きいのは、アフリカである。
3. 農業が原因で土壌が劣化した世界の土地のうち、北アメリカが占める割合は 2 割を超えている。
4. 南アメリカの土壌が劣化した土地のうち、森林減少によるものの割合が 5 割を超えている。
5. 主要原因別にみると、世界全体では、森林減少によって土壌が劣化した土地の方が、過放牧によるものよりも大きい。

【No. 50】 貨物の輸送活動をとらえる指標には、輸送トン数と輸送トンキロがある。図は国内貨物輸送量をこの二つを用いて分析したものである。図Ⅰは、ある年の輸送機関別貨物輸送量を輸送トン数ベースで示したものであり、図Ⅱは同年の輸送機関別貨物輸送量を輸送トンキロベースで示したものである。図に関する次の記述のうち、A、B、Cに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

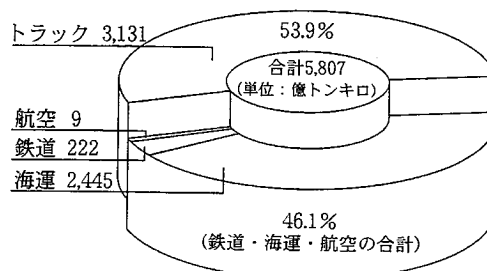
ただし、輸送トン数とは輸送した貨物の重量(トン)の合計であり、輸送トンキロとは輸送した貨物の重量(トン)にそれぞれの貨物の輸送距離(キロメートル)を乗じたものである。

「輸送トン数ベースのシェアと輸送トンキロベースのシェアを比較すると、輸送トンキロベースのシェアの方が大きくなる輸送機関は( A )ある。

また、1トン当たりの平均輸送距離は、( B )が最も大きく、( C )が最も小さい。」



図Ⅰ



図Ⅱ

注) 全日本トラック協会ホームページより引用。

- |    | A  | B    | C    |
|----|----|------|------|
| 1. | 三つ | 航空   | トラック |
| 2. | 三つ | トラック | 航空   |
| 3. | 三つ | 海運   | トラック |
| 4. | 二つ | 鉄道   | 海運   |
| 5. | 二つ | 海運   | 鉄道   |